

# 農林水産省農村振興局長賞

けはら  
毛原の棚田農業体験ツアー実行委員会(京都府<sup>ふくちやまし</sup>福知山市)

## みんなで守ろう心のふるさと毛原の棚田

福知山市は中西部に位置し、毛原は市の最北部にある中山間地区です。「毛原の棚田」は日本の棚田100選の認定を受けた棚田です。平成9年1月に行政・大江で地酒を造る会・緑と伝説の大江塾・田舎暮らし応援団・地元自治会の4者で実行委員会を結成し、「棚田農業体験ツアー」を開催しています。

平成10年からは「棚田オーナー制度」を実施しています。地元の指導、援助で都市住民がお米栽培を行い、増加する遊休・荒廃農地の活用を継続的にしています。また、平成9年から3カ年で棚田の景観保全のための散策路、水車の復元等条件整備を実施しました。平成19年からはモデルフォレスト事業を実施しています。民間企業2社と協定を締結し、企業が行なう里山保全整備事業のフィールドを提供し、つつじの森づくり、きのこ栽培など森林資源の活用と交流会の開催で交流を深めています。

地元では集落の景観保全に、地元の共同作業でビオトープ池の整備を始め、女性部が中心になり道端、法面に花の植栽を行うなど花いっぱい運動を展開しています。また、集落外の農家が遊休農地に蕎麦の栽培を行ったり、新規定住者がブルーベリーの栽培を行い、摘み取り体験農園を開設するなどの新たな取り組みの支援もしています。

小さくても、高齢・過疎化でもそこに住んでいる人が輝いている元気な地域づくりをして、自治会とその取り組みを支援する各種団体、企業等が協力して各種事業を継続し実施しています。

まず都市農村の交流事業として、平成9年より、棚田の農村景観を活用し、農業体験を通じた都市住民との交流により農業・農村の実情を理解してもらうことを目的に、「棚田農業体験ツアー田植え体験会」を実施しています。

また、農地保全事業として、棚田の景観保全と農地の保全を図り、農業技術の習得により新規就農者の確保を図ることを目的に、平成10年より「棚田オーナー制度」を実施しています。都市住民9組25名が参加しています。また平成20年度より蕎麦の栽培・蕎麦打ち講習会も実施しています。また今年度より、遊休農地約50アールにブルーベリーを栽培し、摘み取り農園として開設し、今後都市住民との交流と地元産品の販売を実施しています。

また、景観保全事業として、平成19年より「モデルフォレスト事業」を実施しています。これは、民間企業2社が参加し、つつじの森づくりをするなど、里山の計画的な整備で景観づくりを実施しています。平成9年からは、地域の女性部による道端や農地・道路の法面に花を植栽し管理する「花いっぱい運動」、平成13年からは「ビオトープ池の管理」で共同作業による草刈作業を実施しています。平成20年からは耕作放棄地に蕎麦を栽培し、蕎麦の花による景観形成も実施しています。



毛原の棚田